



奇跡の2日間 展覧会

思いを表す～これが、わたしの色とカタチ～

副校長 立野 文雄

山々からは美しい紅葉の便りが届けられています。日本の四季折々の美しい自然は私たちに感動を与えてくれます。先日、国民的日本画家と謳われてきた東山魁夷さんの展覧会に行く機会がありました。圧倒される風景画や唐招提寺御影堂の障壁画の再現展示など、息をのむほど感動しました。

感動と言えば、11月16日、17日の本校展覧会では、子供たちの魅力的な作品の数々に感動させられました。子供たちが自分らしさを発揮した作品を鑑賞していると、微笑ましくなったり考えさせられたりして、その表現力の素晴らしさに感動し思わずじっと作品に見入っていました。

子供たちは、制作過程の中で、試行錯誤を繰り返しながら作品づくりに取り組んだことでしょう。表面に見える形だけでなく、一人一人の子供たちの考えや思いが伝わってくるようでした。何人かの子供たちに、どういう思いで作品をつくったのか(描いたのか)を聞いてみました。すると「これはこうで、ここがこうなっていて、ここは〇〇なんです。」というふうに、自分で決めたテーマを追求して思いを込めて表現していることがよく伝わってきました。

子供たち同様に、思いを込めて指導した図工専科をはじめ教職員一同、家庭科のミシン作業をお手伝いくださったスマイルクラブの皆様、励ましてくださった保護者の皆様など、多くの人々の思いが詰まった展覧会だったと思います。同じ題材、展示方法、学習環境であっても、子供たち、メンバーが違えば全く違う展覧会になります。今回の展覧会は今回限りという意味では、みんなで作り上げた、まさに奇跡の2日間だったと言えるかもしれません。この展覧会では、図工科の「表現や鑑賞の活動」、家庭科の「実践的・体験的な活動」を通して、子供たちは様々なものに感動することができたことでしょう。今後も、様々な感動を通して心を耕し、子供たちの豊かな情操を育てていきたいと思っています。

子ども園との連携

連携担当

子供たちは自分ひとりで成長していくこともありますが、年下の子とかかわる中でグンと急成長することがたくさんあるように感じます。「一緒に遊んだら喜んでくれたよ。」「帰るときにバイバイと言ってもらえたんだ。」大きな感動です。「自分のしていることは間違っていない。だってほら、こんなに喜んでもらえているんだよ。」そのような実感は、自信や次の意欲へとつながります。



本校では、四谷子ども園と同じ敷地内にあることを生かして、様々な場面で連携をしています。

先日行われた展覧会では、4年生が子ども園の5歳児たちとペアになり、いっしょに会場を回りました。作品について分かりやすく紹介したり、歩幅を合わせて歩いたり。年下の子たちを前に、すっかりお兄さん・お姉さんの顔つきです。



今後、1～3年生は「昔あそび」や「手作りおもちゃ」など、一緒に遊びを楽しむ活動を計画しています。5年生は、次年度に入学予定の5歳児と一緒に給食を食べ、交流を深めます。そして6年生は子ども園へ行って“保育士さん”体験をする予定です。

これらの活動の中で子供たちはどんな姿を見せてくれるのでしょうか。とても楽しみです。

「大災害等による緊急時の対応について」

本日「大災害等による緊急時の対応について」

の手紙を配布しました。大災害時における学校の対応とともに、子どもひろばの対応についても合わせて作成しました。ご家庭で確認していただき、保存してくださるようお願いいたします。

くじらぐも

1年3組担任

国語「くじらぐも」の学習のまとめに、屋上に上がり、さわやかな秋空の下、「くじらぐも」の音読をしました。

みんなの顔が見えるように円く輪になり、教室より大きな声で音読を進めていきました。物語が終わりに近づいたその時、「せんせい、見て！くじらぐも！」と空を指さして叫んだ男の子。まさか…と思って全員で見上げた空には、本当に口を開けたくじらぐもが浮かんでいました。「うわーっ！」「ほんとだ！」「くじらぐもだ！」子供たちは思いもよらないくじらの出現に跳びはねて大喜び。屋上が歓喜と笑顔の渦に包まれました。

やがて、くじらぐもは風に流され形を変えていきました。「さようならー！」教科書と同じようにくじらぐもに大きく手を振る1年3組の子供たち。思い出に残る「くじらぐも」になりました。

3年2組あるある

3年2組担任

① 切り替えがはやい

給食のおかわりジャンケン。お休みの人がいたので今日はデザートが余っているらしい。2個をめぐり8人がジャンケン。「最初はグー、ジャン・ケン・ポン！」一度で勝負は決着。勝った子は「ヨッシャー。」と大喜び。その光景を横目に見ながら、ジャンケンに負けてしまった子は大きな声で言いました。「別に負けてもいいし。本当は食べたくなかったから。ジャンケンしたかっただけだから。」「オレも。」「そうそう、実は私も。」おお、何という切り替えのはやさ。

② 立場が逆転！？

1年生との交流。ペアのお友達に絵本の読み聞かせをしに行きました。選んだ本を読む練習をして迎えた当日。1年生の子の反応を見ながらニコニコ顔で読む子、ひざの上に1年生を座らせて読む子。「いいなあいいなあ。」と思いながら見ていると、「あれれ？」1年生が3年生に絵本を読んであげているペアがいるぞ。後で3年生に聞いてみたら、「もう読み終わったから、今度は読んでもらっていたの。」ああ、よかった（＾＾）

冬休みの過ごし方

生活指導主任

今年も残すところ一ヶ月となりました。冬休みは、一年を終え、新しい年を迎える大切な期間です。気持ちよく新年のスタートを切ることができるよう、学校では、冬休みの過ごし方について以下のことを重点に指導いたします。ご家庭でもお子さんと冬休みの過ごし方について話す機会をもっていただければと思います。

1. 規則正しい生活をしよう。

- ・早寝、早起きをして生活のリズムをととのえよう。
- ・気持ちのよいあいさつをしよう。
- ・家のお手伝いを進んでやろう。

2. 健康と安全に気をつけよう。

- ・交通安全に気をつけよう。
- ・お金の使い方を考えよう。
- ・外出時や遊びのルールを守ろう。
- ・風邪やインフルエンザの流行を防ぐために、うがい・手洗いなどをしっかりしよう。

